

ほっぴ・ステップ・JUMP!

2004. 4. 3

vol.61

発行 北海道の子どもと保父の会

<http://homepage3.nifty.com/hokkaido-hofunokai>

巻頭言

3月13日(土)無事に第27回まこと保育所卒園式も終わり、ホッと一息……。まこと保育所の卒園式は、2部構成になっていて、証書授与式の後に在園児達の出し物や、卒園児の出し物などを行います。通称「お別れ会(そのまんまですが……)」というのですが、今年は4歳児の劇を担当しました。

内容は子ども達と0から話し合い、誰がでてきて、どんな展開になるかなどを一緒に考えました。題名は『とまとどろぼう』。主人公は、'とまとにんげん'。このキャラクターも2年ほど前から、わたしと子ども達の間で、ひそかに色々な場面で登場させていたのですが、今回やっとメジャーデビューです。こどもたちと話した内容を元に絵本を作成しそれを使って劇ごっこへ、と発展させていきました。おはなしはというと……。



MLBボールパークシリーズ No6
ドジャースタジアム(ロサンゼルス・ドジャース)

~とまと大好きなとまとにんげん。今日も大好きなとまとを食べようとお家にかえります。ところがとまとが1つもありません。しかたがないので八百屋さんに行きますが、そこでもなぜか品切れ。そこでとまとの産地、とまとむらまへ来てみると、なんと!とまとの苗が全部枯れているではありませんか!! 村人にはなしを聞いてみると、謎の山からどろぼうが来て全部もって行ってしまったというのです。なんとするととまとを食べたい。とまとにんげんは、やまへ行って取り返すことにしますが……。



という感じです。子ども達は自分達の作った、はなしと馴れ親しんだキャラクターなため、台詞覚えもよく、役に入りこみやすかったようでした。やっぱり普段の積み重ねって大事なんだなあとつくづく感じてしまいました。それから、今年はその「おわかれ会」の司会をまかせられ、手にビッシヨリと汗をかいてなんとかこなしました。

いつも逢ってる方々ばかりなのに、なんだか緊張しちゃって……。

4月からは卒園児も1年生です。子ども達にとって、学校という場所が、どんな場所になるのか、先生や友達など出会う人によって大きく左右されていくとおもいますが、学校や先生と上手く折り合いがつかず不登校になる話もよく聞きます。学校という場所も、子どもそのものについてもう少し理解を深めた方がよいのでは……と思うのは私だけでしょうか? 私たち保育者もまだまだ、知らなくてはいけないことがたくさんありますが……。

それはそうと、年度末から年度始めに突入するこの時期。しっかりと物事を整理していかないと、仕事かドンドンたまっていきます。そうならないように、がんばらないと……。で、ナニから始めよう??(全然整理できて無いじゃん……。)

亘

おすすめ絵本

『穴』 文・谷川俊太郎 絵・和田誠

おとこのこが、だれにもものではない、じぶんだけの穴をほりはじめます。なんとなく、こどもの自立を表現しているような、なんとともたくましさみたいたいものを感じてしまう絵本です。開き方も、独特です。

さあ、雪が解けたらオレもあなほるぞお~!!



総会報告

2003年2月14-15日の二日間、札幌市北区にある「オテル・ド・レーゼンサッポロ」で行われ、10名（うち学生2名）が参加しました。自己紹介を兼ねた近況報告では、大森さんが自分の生い立ちから保育士を目指すに至った経緯を語ってくれたり、A学園の学生は保育実習で子どもと向き合っていて感じた事を真面目に話したり...、皆さんの思いをじっくり聞くことができました。

2003年度の活動を振り返って、「保育学生が例会等に参加出来たのはお互いに良い面があった」「10月の保育技術交流会は純粋に保育の話ができて良い企画だった」「サッカー交流会は久しぶりにレク企画が実現できたので楽しく良かった。次年度も行いたい」という意見が出ていました。2003年度の活動の詳細は下記の通りです。

【2003年度活動報告】

例会 5/9（幌北） 近況報告会 22名参加（うち学生13名）
7/11（すすきの） 三村氏誕生会 9名参加（その他学生たくさん）
10/10（幌北） 保育技術交流会 8名参加
忘年会 12/27（すすきの） 12名参加
サッカー交流会 8/9（文教短大） 26名参加（うち学生12名）
総会 2/14-15 10名参加（うち学生2名）
ほっぷ・ステップ・JUMP! 5回発行 vol.56 60 3月にvol.61発行
ホームページ

【2003年度会計報告】 2/13現在

収入の部

前年度繰越 ¥21,451 会費収入 ¥21,000 切手寄贈 ¥14,180 収入計 ¥56,631

支出の部

事務費 ¥9,433 郵送費 ¥10,860 総会補助 ¥2,761 交流会補助 ¥11,500
例会補助 ¥7,500 支出計 ¥42,054

次年度繰越

現金・預金 ¥3,243 切手 ¥11,334 繰越計 ¥14,557

会計では2003年度会費未納者が現在21名もいます。会費の大半はほっぷの作成・郵送費に使われていますので、未納者は早めに入金をお願いします。

2004年度の活動は、この反省を踏まえて下記のように決定しました。

【2004年度活動計画】

例会
5/14（金）近況報告会（幌北中央）
7/9（金）保育技術交流会=理論編=（幌北中央）
9/4（土）スポーツ交流会（場所未定）
10/8（金）保育技術交流会=実践編=（幌北中央）
忘年会 12月12日（土）すすきの
総会 2月19（土）～20（日）温泉
ほっぷ・ステップ・JUMP! 6月・8月・10月・11月・1月・3月発行
ホームページ
その他 イベント企画（子育て講座、あそびの広場） 例会にて検討していく
役員改選
会長 畠山 運営委員 家村、三国、本間、（浅利・桑原）
事務局 幌北中央（三村） 会計 ホームページ。ほっぷ作成 桑原
会費 1000円

総会後に感想・今後の抱負などのメッセージをいただきました。

私的には体調がイマイチで最高とはいえませんが、それなりに楽しめました。心配していただいて、みなさん申し訳ありません……。

内容的には、例会常連組が、軒並み年をとってきて話の内容にも幅が出てきたように思います。学生達も私の頃と比べるとものすごくしっかりしてるし、保育、教育というものの新しい可能性みたいなものも感じさせてもらいました。また来てくださいね。職場環境での不平や不満は毎年のことですが、それを変えるのは簡単じゃないけど長い年月を見据えて少しずつ変えていきましょう。だって以前に比べたら、働き易くなってるはずですよ。今もらし



てる不満が、はたして、自分が違う職業についた時には、解消されるのかどうかを、まず考えてみると考え方的にも少しは、余裕が出てくるかもしれませんよ。だからあきらめろといってるわけではないのですが、努力はしていきましょうね。人数が少ないせいか、妙に団体行動の会でしたね。こんなに仲良かったかな？来年はもっと人数が増えて、うるさいぐらいになったら楽しいのになぁ～。約1名、やけにうるさい奴がいたけど…。新人の高橋くん、いままで声掛けなくて、すみません。また例会にも、参加してくださいね。大森さんが心境の変化のせいか、なんだかふっきれてて、なんだかいつもよりも饒舌で、おもしろかったです。あとそれから、みんな親でもあるんだなぁ～…と、つくづく感じました。

亘

やっぱり集まるのはいいもんだ。特別なことではないがいろいろな話しが聞けて、話しながら自分も饒舌になる。それから、学生の参加がうれしい。これからも学生達との交流などで、保父会が活発なればいいと思う。自分にとっては、とてもいい時間を過ごせたと思う。



以上 大森



初めは7人ということで寂しい総会になるかな～と
思っていたらとーっても楽しくて、食べて飲んで話して
…なんといってもみんなで飲んだ後にラーメンを食べに
行ったり、みんなで風呂へ行ったことがなによりも楽しく一体感を感じた！！ホテルも
とっても良く、次は…と来たいな～と思いました。

たかし

保父の会に入って12年が過ぎようとしています。以前は「行かなくてもまあいいか！」ぐらいの気持ちで入っていましたが少しずつ気持ちが変わり、行くことに価値があるように思えるようになってきました。でもここ数年は、行ってはいるものの話し合いにはほとんど参加せず、三村さんとMacの話ばかり……「これではいかん！」と今年は思い、最初の頃に行った時に船山さんや小田さん達が保育の話をぶつけ合っていたようなそんな奴になろうかな？と思っています。多分できないけど、そんな気持ちで今年度は保父の会に参加しようと決意しました。毎年目標を持つのは嫌いな方なのでたまたま目標を立ててみました。みんな今年は熱い話が出る保父会にしませんか？ 学生もいいけど現場の諸君！！ 年4回なので保父会に来てね～



今年の4月から27才の男の子が我が園にやってきます。Daiちゃん以来です。自分も刺激がもらえていいかも！と思っています。まさかペアは組まないと思うけど……（乳児に戻りたいな～）

浅利

私は今回も何度目かの幹事でした。それまでの反省から「決して赤字は出すまい！」と心に決めていたので夕食を妙にケチってしまいました。ゴメンね、家村くん。会の活動は限られたメンバーがこの総会で決めてしまうので「他の人はこれでいい」と思っているのかな？と心配になることがあります。もっといろんな形で会に参加できるような方法をこれからも考えて行かなくてはなりませんね。

2004年度は新たなイベントとして子育て講座や子どもの広場を考えています。すでに色々なところで行われているものですが、**保父の会でしかできない子育て講座・子どもの広場**ができたらいいと思います。たくさんの人の参加が必要になると思います。ぜひたくさんの人に関わってもらい成功させましょう！



桑原



新連載！シリーズ「わらべうた」で子育て

大森 文夫

最終回 はげますこと、ほめること

赤ちゃんが寝返りをうち、ハイハイをし始める。そして、つかまって立ちあがる。この一つ一つが、人として育つための大切な節目です。そこにたどりつくまでの、赤ちゃんのがんばりと意欲を「わらべうた」がはげめます。

「ごろん ごろん ごろん」

体を自分で動かせるようになったら、手をそえて「ごろん ごろん ごろん」と声をかけて寝返りできるように助けてやります。一人でもできるようになったら、唄だけうたって、はげめます。



「待って 待って 待って」

寝返りができるようになったら、腹ばいにして、おもちゃなどを見せて「おいでおいで」と、ほうことをうながします。そこまで行きたいと、赤ちゃんの意欲もわいてきて、ハイハイができるようになるのです。

はうのがうまくなって、赤ちゃんがこっちを見ているときに「待って 待って 待って」と手で床をたたいて追いかける動作をすると、赤ちゃんは追いつかれまいとして逃げる。少し行って、かならずふり返りますから、また「待って 待って 待って」と追いかける動作をする。これは「おにごっこ」の始まりです。このあそびの楽しさを覚えると、赤ちゃんは、声をかけられるのを待つようになります。ハイハイして行って、赤ちゃんがふり返る。それは、また「待って 待って 待って」と言って追いかけてほしいからで、赤ちゃんが誘いかけているのですよ。大人はその誘いには、かならず応えてやってくださいね。こうしてはってあそびながら、腰がじょうぶになるし、背骨もしっかりする。ほしいものを取りに行く、行きたいところに行こうとする意欲も育ちます。



「つくつくつく」

じゅうぶんはうことができるようになったら、今度は立つ練習もしていきます。大人の腿の上に立たせて、脇の下を支えると、赤ちゃんは跳ねるように体を動かします。そのとき「つくつくつく」とリズムカルにうたいかけて、赤ちゃんの跳ねる動きに合わせて上下させてやりましょう。こうしてあそぶことで、足を使うことを覚えさせ、立つ訓練になるのです。

「立った 立った 立った」

つかまって立とうとし始めたら、「立った 立った 立った」とうたいかけてはげめます。つかまって立ち、ころんではまた立とうと、赤ちゃんは何度もくり返してがんばります。そしてしっかり立てたときは、本当にいい顔をしますね。赤ちゃんががんばってきたときは、赤ちゃんの目を見てしっかりほめてあげてください。「立った 立った 立った、できたね」と、手をたたいたり、頬ずりしたり、抱きしめてやったり、頭なでてやったり、びっくりしてみせたり、おおげさなくらいに動作をつけて、赤ちゃんが「ほめられたんだ」という感じを持たせることが大事です。ほめてもらえば、だれだってうれしいし、またやろうというきもちいいものです。



ほめたり、はげましたりは、一歳になる前にたっぷりしてあげてください。そうすれば、自分でがんばってきたという喜びを知って、人が生きていくうえで大切な、目的にむかって努力する意欲が育つことになるのです。そういう意味で赤ちゃんが寝返りを打ち、はうようになり、一人で立てるようになる過程はとても大事な時期です。そのときに歩行器にばかり入れていてはその大事な体験を奪ってしまうことになってしまいますね。

次回例会について

次回例会は、5月14日（金曜日）18：30から幌北中央保育園で行います。『近況報告会』ですので、新年度がスタートして思うことや聞いてみたいことなど、話のネタを用意してきてください。新人さんも歓迎しますので、どんどん誘い合って、にぎやかな集まりになればいいと思っています。

その他としては9月4日に行う「スポーツ交流会」と子育て講座等のイベントの詳細を話す予定です。今年度一発目ですので是非都合をつけて参加してください。会費も徴収しますのでよろしくね！

編集後記

新年度、皆さんはいかがお過ごしでしょうか？ 職場が変わった人、偉くなった人、彷徨ってる(?)人...、様々だと思います。月並みではありますが、健康に注意して元気に過ごせることが一番です。ストレスをためない様に適度にガス抜きしながらやっていきましょう！

会費の納入が大変悪いです。今回郵送の方には書面で、パソコンの方にはメールで、納入状況をお伝えしました。財政状況の厳しい方もいらっしゃると思いますが、何とぞよろしく願います。尚納入状況に疑問・質問がある方は桑原までお知らせください。

ホームページ紹介

ホームページには過去のほっぷ・ステップ・JUMP! のバックナンバーがあります。まだいくつか作成途中のものもありますが、過去16年の保父の会の歴史が一目でわかります(きっと)。時間のあるときにでも、ぜひご覧ください。



事務局

幌北中央保育園 札幌市北区北20条西3丁目19
011-716-1841 FAX 011-716-1852
発行責任者 桑原 一司